

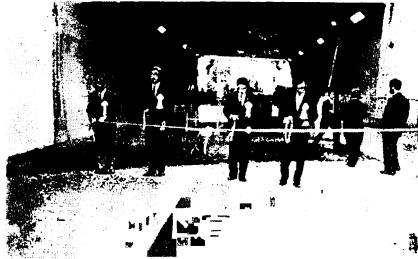
昭和46年6月1日発行
毎月1日 15日発行
発行所 佐賀県鳥栖市宿町1118
鳥栖市役所(電③3111)

とす市報

6月1日号
No. 208

市民の動き (5月1日現在)		
人 口	世帯	
総 数 男 女	(+63)	
(+46) (-2) (+51)	47,743 22,658 25,085	11,463

上は前月との比較



市は今泉~田代線の立体交差(藤木下道)しゅん工式を5月18日行ないました。この工事は国鉄が藤木踏切2か所を取り除き、この(約)道橋を新設、改築する機会に、本市としては、これと交差する都市計画街路今泉~田代線を改良したものです。

立体交差全長は560m、工事費 総額は5億3303万2000円。このうち国鉄負担が1億7282万8000円で、市は3億6020万4000円の負担になります。市負担分の内

しゅん工式でテープを切る原市長(右から2人目)と建設省、県国鉄の代表者

空から見た地下道。
写真下方が東町側。

訊は、国庫補助金2億3746万8000円、都市計画税6172万3000円、起債6606万円、市費41万3000円となっています

通勤用車など駐車お断り

鳥栖駅前広場

鳥栖駅前広場は、都市計画事業を順次進めている途中ですが、市民のみなさんの要望により、駅の出迎え、見送り、駅周辺の買物等、短時間の利用のために、暫定的に駐車場として便宜をはかっています。

このため広場利用について3か所に掲示していますが、まったく守られず、通勤用自動車などの一部特定の車が一日中ここを占用している実情です。また禁止している二輪車や自転車も多く、趣旨にそって利用しようとする人は、まったく止めさせて迷惑をされています。市民のみなさんがだれでも気持ちよく広場を利用できるよう、次のことを守ってください。

- ①通勤、通学用の車は駐車禁止
- ②2時間以上の駐車禁止
- ③所定の位置にきちんと駐車

①自転車、二輪車は利用禁止

鳥栖土木事務所

蔵上～養父線舗装工事など始めます

建設課は、今年度「当初予算に計上した交通安全施設200万円、安楽橋改築200万円、市道舗装1,000万円の工事を5月上旬発注しました。いずれも工期は5月20日から7月20日までになっています。

<カーブミラー設置>

- 1牛原町井川口(井川口～大谷経)
- 2今町全幅連工場北側(田代～今町線)
- 3原町基里公民館前(菱野～停車場線)
- 4幸津町B.Sサイクル南(安良～下野線)
- 5下野町公民館の角(安良～下野線)
- 6神辺町谷バス停(鳥柄～河内線)

<ガードレール>

- 1牛原町東橋近く(鳥柄～牛原線)

2酒井西町大木川沿い(宇土～桜線)

3本鳥柄町鳥の里橋側ガード入口(曾根町地下道)

4今泉町坂口踏切南側(坂口～新浜線)

5立石町沼川沿い(立石～御手洗線)

6^{歩道…側溝にフタをしてガードレールをつける工事>}

1鳥柄中学校東側約40m、幅1.2m。(税務署～中学校線)

2曾根崎町若竹幼稚園西側約50m、幅1.5m。(曾根崎～中学校線)

<安楽橋(安楽寺町)改築>

老朽化した木造橋を幅4m、長さ8mのコンクリート橋に改築。

<市道舗装>

蔵上～養父線ほか23路線、総延長4545m。

小林氏が壳業研究

の二集目を発刊

鳥栖地壳業史の研究で知られた鳥栖高校教諭の小林常氏(45)は、編さん中の鳥栖市史の執筆者の1人ですが、このほど10年の研究成果をまとめた「肥前壳業行商団の成立過程」(A5判、106ページ)を刊行しました。

これは、昭和55年同氏発行の「対馬領田代壳業史」に続く氏の壳業史研究の二集目で、文部省科学奨励研究費を受けたもの一集に次いで二度目です。

企業の販売力を育てるために

店頭販賣員教育講座

ご案内

とき 6月18日(金)
午前10時～午後4時

ところ 商工会館 3階

講師 日本マネジメント協会

亦明 勝氏

参加料 テキスト、昼食代300円

申込み 鳥栖商工会議所指導課へ6月12日まで

主催 鳥栖商工会議所

鳥栖中小企業相談所

経済講演会

「景気変動と円切り上げ

問題について」

講師はテレビ、ラジオで活躍の竹村忠雄氏。氏はNHK、日本テレビ、日本教育テレビ、日本短波放送などのレギュラー解説者。またジャパンタイムスその他の新聞、雑誌のレギュラー執筆者です。

とき 6月25日(金) 午後6時30分～

ところ 鳥栖商工会館3階大ホール

受講料 一般500円、法人会員無料

申込み 鳥栖商工会議所指導課に

6月16日まで

主催 鳥栖法人会

後援 鳥栖商工会議所

よろず相談は9日

6月のよろず相談は9日(水)、
市役所会議室で行ないます。

水道週間特集

6月1日から7日までは第13回水道週間。地下水の低下や汚濁が心配されている今日、衛生上まったく心配のいらない上水道について、さらに市民の理解を得るために特集をしました。

上水道……豊かで衛生的

案外きたない井戸水

市の水道普及率56%

全国の都市部は87.6%

わが国に近代的な水道が建設されたのは、コレラなどの伝染病対策がそのおもな理由でした。明治20年にできた横浜の水道が最初のもので、その後、港町を中心に普及し、今日ではほとんどの都市が水道をもつようになりました。とくにこの10年間の普及はめざみしく、昭和30年度では総人口にたいして32.2%の普及率だったのが、45年3月末には79%に達しました。

鳥栖市では、昭和40年度から5か年計画で建設に着手し、44年度に竣工費4億8526万3000円で第1次計画を完了し、配水管布設は延長6万6291mに及んでいます。給水を始めたのは42年7月、現在では5488世帯がその恩恵を受けており、使用水量は46年4月の場合、1日平均4534

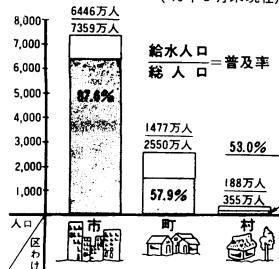
立方m、200袋入りドラム缶で2万2640本に当たります。

水道普及率は都道府県ごとに大きな差があり、たとえば大阪府の99.4%、神奈川県の88.6%から、その半分にも満たない栃木県の47%、茨城県の47.7%まであります。ブロック別では南関東、東海、

京阪神、つまり東海道沿線の地域が高く、北関東、東北、中九州、南九州が低いようです。佐賀県は45年3月現在63.9%で、全国の39位にあたります。

鳥栖市は水道の歴史が4年と浅いため普及率は56%で、全国の都市部の普及率87.9%、町部の57.9%には及びませんが、給水開始以来、わずか4年といえど過年数からみれば、良好といえましょう。さらに普及率を増加し、清潔で豊かな水を安く利用していただきたいものです。

同じ水なのにひどい料金の格差

市、町、村ごとの水道普及率
(45年3月末現在)

水道事業は、都道府県や市町村が国や金融機関などから金を借りたり、補助金を受けたりして、水道施設を建設し、水を使つた人たちから料金をもらい、そのお金で借金を払う、という仕組で運営されています。つまりすべての経費は、使つた人が払う水道料金でまかうのが原則です。

ところで水道料金は、その立地条件などによって、市町村ごとにかな

りの差があります。もっとも高いのは、北海道 北村の一本料金 10立方m当たり980円、広島県因島市の6立方m当たり450円などです。このように差があるのは、①水源が近いか遠いか②水道施設が最近ですか、古くからあって整備されているか③施設の規模が大きいか小さいか、などが料金算定に大きく影響する。しかし水道の水は、生活にとって1日も欠かせない大切なものであることは

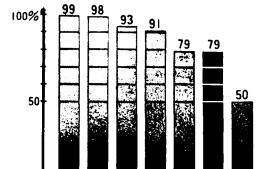
鳥栖市水道事業の収支

区分	42年度			
	42年度	43年度	44年度	45年度
収入	万円	万円	万円	万円
営業収益	1153,8000	2916,9000	4892,1000	6113,0000
営業外収益	2000	16,5000	23,6000	161,8000
計(a)	1154,0000	2933,4000	4915,7000	6274,8000
支出	万円	万円	万円	万円
営業費用	927,1000	3366,7000	4575,1000	5711,3000
営業外費用	0	2171,4000	2607,4000	2815,4000
計(b)	927,1000	5538,1000	7182,5000	8526,7000
差引(a)-(b)	226,9000	△2604,7000	△2266,8000	△2251,9000
一般会計からの借入金	0	1564,5000	1000,0000	930,0000

給水区域内の町別水道普及状況 (46年3月31日現在)

町名	世帯数	給水世帯	普及率	町名	世帯数	給水世帯	普及率	町名	世帯数	給水世帯	普及率
轟木町	273	167	61.2%	田代上町	67	30	44.8	轟上町	123	19	15.4
元町	270	171	63.3	田代外町	193	104	53.9	簗父町	79	16	20.3
秋葉町	160	67	41.9	田代外町住宅	68	68	100.0	山浦町	211	193	91.5
木町	430	268	62.3	田代大官町	139	93	66.9	山都町	81	79	97.5
木鳥栖町	375	200	53.3	田代木町	223	106	47.5	原古賀町	139	39	28.1
藤木町	330	139	42.1	柿比町	90	6	6.7	原古賀町住宅	40	40	100.0
今泉町	252	165	65.5	神辺町	505	260	51.5	平田町	117	20	17.1
眞木町	106	1	0.9	壹方町	332	203	61.1	一本杉住宅	113	113	100.0
東町	317	173	54.6	古賀町	400	285	71.3	村田町	205	28	13.7
木通町	195	92	47.2	曾根崎町	217	73	33.6	村田町松原	18	7	38.9
中央区	957	580	60.6	原町	147	11	7.5	村田町住宅	84	84	100.0
京町	220	147	66.8	姫方町	64	63	98.4	儀徳町	163	68	41.7
布津原町	459	451	98.3	轍崎町	256	132	51.6	儀徳町住宅	125	125	100.0
鉄道宿舎・青年祭	298	133	44.6	桜町	157	45	28.7	三島町	195	37	19.0
田代昌町	126	31	24.6	松原町	312	282	90.4	合計	9791	5488	56.1
田代新町	66	24	36.4								

(注) ①配水管が埋設されていない町は除く。②中止届が出ても給水設備があるところは含む。



世界各国の水道普及率
(45年3月末現在)

地域にかかわらず同じことですから、このような料金の格差はなくなるようにしたいものです。

市の水道会計は赤字

こうした問題をかかえながらも、水道の需要がふえている現在、拡張や配水管の整備工事は施行しなければならず、その工事にかかった経費は、水道料金にはねかえり、料金値上げの最大の要因になっているようす。また、建設費、人件費、浄化用の薬品費などが毎年多くなり1立方m当たりのコストが高くなっている現状です。

本市では44年度決算で、給水原価は1立方m当たり56円0銭ですが、これを35円で供給し、これによる赤字相当分については、一般会計からの繰入金、長期借入金などで補てんし、公益性を堅持しています。今後も経営の合理化、経費の効率的運用により、水道事業の健全経営に努力しなくてはなりません。

どうぞお出か
けください

(6月1日~7日
市役所の市民ホールで)

●水道写真展 (市民から募集)

●標語展 (")

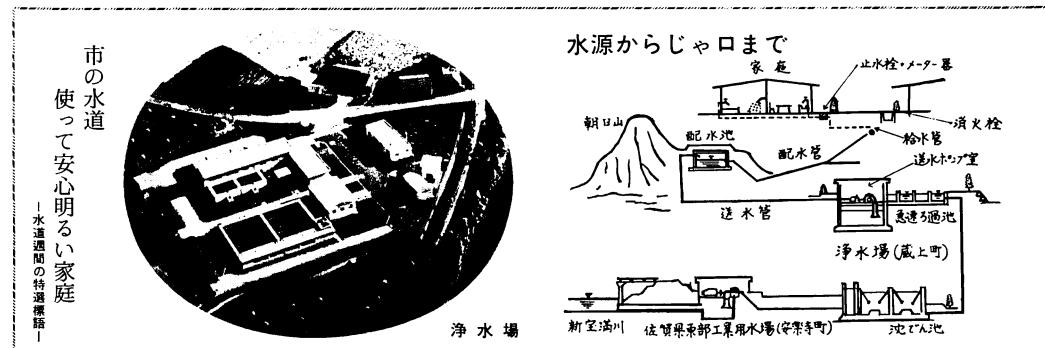
●小、中学生の書道、標語作品展

●浄水場の一般開放

6月1日~7日まで毎日(午前10時~午後4時) 蔵上町の浄水場を、市民のみなさん見学していただきます。

●期間中水道課内に水道相談所を設けましたのでご利用ください。

●期間中に給水工事を申し込んだ人に修繕セットを無料で差上げます。



市の水道
使って安心明るい家庭
—水道運営の特選標語—

微 収 人										水 道 檢 針 日 程 表										水 道 料 金 徵 収 日 程 表													
住 所	氏 名	区 分	永 江 山	竹 竹 岛	本 島	高 福	口 鳩	三 井	島 畑	池 戸 久 保 林 福 間 石 崎 平 塚 寺 瞳 藤 木	8 三島町	9 子	10 佐賀市	11 佐賀市	12 佐賀市	13 佐賀市	14 土井町	15 美父町	16 田代町	17 田代町	18 田代大官町	19 田代木町	20 桜井町	21 本鳥町	22 本鳥町	23 本鳥町	24 本鳥町	25 本鳥町	26 本鳥町	27 本鳥町	28 本鳥町	29 本鳥町	
下野町	池尻貴美枝子	16	幸永	江山	竹島	本島	高福	口鳩	三井	島畠	8 三島町	9 子	10 佐賀市	11 佐賀市	12 佐賀市	13 佐賀市	14 土井町	15 美父町	16 田代町	17 田代町	18 田代大官町	19 田代木町	20 桜井町	21 本鳥町	22 本鳥町	23 本鳥町	24 本鳥町	25 本鳥町	26 本鳥町	27 本鳥町	28 本鳥町	29 本鳥町	
布津原町	久保正	16	喜古	方賀	木代	比	幸三	村田町	田中町	田中町	9 木島町	10 木島町	11 木島町	12 木島町	13 木島町	14 木島町	15 木島町	16 木島町	17 木島町	18 木島町	19 木島町	20 桜井町	21 本鳥町	22 本鳥町	23 本鳥町	24 本鳥町	25 本鳥町	26 本鳥町	27 本鳥町	28 本鳥町	29 本鳥町		
大田代町	林福間節子	16	木代	比	木代	比	木代	木代	木代	木代	16 木島町	17 木島町	18 木島町	19 木島町	20 桜井町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町
都町	寺崎謙護	16	木代	比	木代	比	木代	木代	木代	木代	16 木島町	17 木島町	18 木島町	19 木島町	20 桜井町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町
神宿町	辻石崎明	16	木代	比	木代	比	木代	木代	木代	木代	16 木島町	17 木島町	18 木島町	19 木島町	20 桜井町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町
山辺町	寺崎明	16	木代	比	木代	比	木代	木代	木代	木代	16 木島町	17 木島町	18 木島町	19 木島町	20 桜井町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町
平原町	辻石崎明	16	木代	比	木代	比	木代	木代	木代	木代	16 木島町	17 木島町	18 木島町	19 木島町	20 桜井町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町
一木杉作	辻石崎明	16	木代	比	木代	比	木代	木代	木代	木代	16 木島町	17 木島町	18 木島町	19 木島町	20 桜井町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町
藤木惣次	辻石崎明	16	木代	比	木代	比	木代	木代	木代	木代	16 木島町	17 木島町	18 木島町	19 木島町	20 桜井町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町	21 木島町	22 木島町	23 木島町	24 木島町	25 木島町	26 木島町	27 木島町	28 木島町	29 木島町
（日曜日および国民の祝日は休みます。）																																	

水道使用量の検針と料金の徴収を、
水道課が委託しているのは上記の方々
です。最少限の人員で行なっています
ので、日程にいくぶん変更があること
もあります。

「人員をふやしたら」というご意見
もありますが、経費の負担増になり、
水道料金にもね返ってきますので、
現在のままでご了承くださるようお願
いします。

飲めない井戸水

最高は78.5%も

次の井戸水検査結果は、本市の上水道建設工担当
時、鳥栖保健所で検査したもので、ここで不適とさ
れているのは、国で決めた基準以上の鉄分などが検出
された水のこと、生水はもちろん、わかつても飲め
ない水が相当あることがわかります。

井戸水の検査結果表

区 分	調査所	適 合 率		煮沸適合率		不適合率		
		個数	%	個数	%	個数	%	
計		204	55	26.9	58	28.4	91	44.6
鳥栖		114	24	21.0	37	32.4	53	46.5
田代		14	1	7.1	2	14.2	11	78.5
基		23	8	34.7	7	30.0	8	34.9
麓		16	8	50.0	4	25.0	4	25.0
旭		37	14	37.8	8	21.6	15	40.5

水道工事は指定店で

市内の水道工事は、市が指定した工事店しかすることできません。

このことは市の条例により決められています。家を新築して水道を新設する場合、または改築によって水道管やじゅうじを変更する場合はもちろん、温水器や湯沸器類の設備工事も含まれます。これは工事価格や技術の適正を期するためです。

指定以外の工事店で工事をした場合

は水道水を送ることについて面倒なこ

とがあります。とくに鳥栖市以外の大

工さんに新築、改築を請負せた場合

は、ご注意ください。

鳥栖市指定水道工事店

野下ポンプ店	秋葉町二丁目	⑧ 2682
吉山ポンプ店	元町	⑧ 2924
中島ポンプ商会	東町一丁目	⑧ 2421
島工務店	曾根崎町	⑧ 2797
小林ポンプ店	桜町	⑧ 2787
(株)高芳賀工務店	今泉町	⑧ 4358
中央鐵工所	本町一丁目	⑧ 5168
九執行設備	大正町	⑧ 4410
佐藤電気工事店	本鳥栖町	⑧ 2208
シメノ商事(有)	平田町	⑧ 4538
鳥栖設備工業	本町一丁目	⑧ 3510
	元町	⑧ 3830
	真木町	⑧ 0668

『減反』転作希望ふえる

各農家から出された減反計画が、このほど市農林課でまとめられました。これによると、鳥栖市にたいする県の割当319haを約6%上回る約337haの減反計画になっています。

減反割当は、生産組合員、区長、農協青年部、同婦人部、市、農協、農業共済組合などにつくっている鳥栖市生産調整策協議会で検討されたもの、各町の対策協議会へ、さらに各農家におおされたものです。

計画面積約337haの内訳は

転作 約 233ha (69%)

休耕 約 101ha (30%)

転用 約 3ha (1%)

になっています。45年度は約198haが減反され、このうちの半分を上回る104haが休耕でしたが、上記のとおり今年度は休耕が30%程度になり転作希望が増加しています。

この原因は国が交付する生産調整奨励

補助金にあります。昨年度は、休耕も転作も同額の補助金が支給されました。今年度は転作と休耕では補助金に差をつけ、おおいに転作を進めようとしているためです。交付金をこまかにみると、基準収穫を500tとした場合、次のようになります。

- おおむね3ha以上を同じ作目の野菜に転作する集団転作および造林や果樹などの永年作物転作にたいして、10%当たり4万4000円。
- 集団でなく各戸が転作する普通転作と漁池や農業用施設転用の場合3万9,000円。昨年植えた裏作の麦、なたねは普通転作にはいります。
- 単なる休耕には3万4000円。
- しかも補助金交付年数が、単純休耕は今年1年、集団、普通転作および永年作が5か年、転用は3か年となっています。

本市の集団転作品目は、今のところアスパラガス、花木、飼料、ウリ、キュウリ、大豆となっていますが、アスパラはすでに蔵上町を中心に約7.5haに定植、街路樹などは、九州植物流通センターとの契約栽培が昨年から始められています。

ウリはことしから原町などで活用栽培、キュウリは南内町などで昨年から出荷しています。

パラチオノン剤など使用禁止

これから、農家はもちろん一般家庭でも農薬を使用することが多くなりますが、このほど農業取締法の改正があり、パラチオノン剤などが6月1日から使用禁止になりました。

すでにBHCが使用禁止されたほか、ドリン剤も使用規制がされていますが、このような規制にかかるわざ、低毒性の農薬使用についても十分注意して事故のないようにしてください。

＜こんど使用禁止になった特定毒物＞

- (1)パラチオノン剤 (商品名:ホリドール乳剤、P B粉剤、パラチオノン粉剤など)
- (2)メチルパラチオノン剤 (商品名:メチルホリドール乳剤、メチルホリドール粉剤、P B粉剤など)
- (3)テップ剤 (商品名:テップ、エヌテップ、ニッカリソリンなど)
- (4)ショーラーダン剤 (商品名:ベストックスーザー)

佐賀市で日住病 全国大会ひらく

第12回日本住血吸虫病全国大会が、5月12日佐賀市民会館で行なわれました。この大会は、「日住病」のある山梨、広島、佐賀、福岡、岡山各県の36市町村でつくっている対策協議会が毎年行なっているもので、こどもは総数125人、鳥栖市からは市長、市議、関係区長、衛生課長など10人が出席して日住病撲滅の話をしました。

これらの市町村は、昭和32年から国の補助を受けて、日住虫の中間宿主「宮入貝」を止めなくするため、ミソのコンクリート化工事を進めています。これが48年度で終了する計画になっていますが、45年度までの進歩率が平均80%程度。このままでは計画通りの終了が危ぶまれています。

このため今回の全国大会は、国庫補助を増額して、計画が遂行できるよう、また補助対象の範囲を広げるよう団に働き

かけることを決議しました。

ところで鳥栖市のコンクリート化計画総延長は18万8855m、このうち45年度まで約80%に当たる15万1607mが施工済みになっています。補助対象が広がれば、さらに約1万5000mを実行したい考えです。

ジフ、百日混合予防接種

乳幼児のジフテリア・百日せき混合予防接種を次のとおり実施します。料金はいりません。

△該当者 生後3か月過ぎて1回、その後3~4週間に2回、さらに12~18か月の間にもう1回受けさせてください

△期日

6月14日(月) 田代、基里、龍、旭

6月15日(火) 鳥栖地区

△会場 木町三丁目 中央公民館

までに申し込んでください。

期 日 9月17日~9月23日

人 員 100人

費 用 1人3万2700円

引揚者特別交付金 の請求は早目に

引揚者特別交付金の請求期限が、47年3月31日までに延期されたことは、すでにお知らせしましたが、県ではこの事務を46年3月末までに一応見通しをつけ、9月末までに終了することにしました。終戦まで1年以上外地に住んでいた人で、まだ同交付金の請求手続きをすませていない人や書類不備のため県から書類を返されたなどは、早目に市福祉事務所社会係においてください。

人事院で刑務官募集

人事院は刑務官の特別募集を行なっています。応募できるのは昭和16年4月2日から昭和26年4月1日まで生まれの男子で、高校卒業程度の学力の人。6月10日まで受け付けていますので、くわしくは山浦町鶴原刑務所庶務課(電話⑧2121)におたずねください。

*海底歩道はいかが

本町三丁目の栗原健吾さん(33歳、園鉄勤務)ら4人は、潜水を楽しむ鳥栖アクアラングスポーツクラブを作り、会員を募集しています。初心者も海底歩道ができるよう講習を受けられます。

問い合わせは、電話⑧2823へ。

おはようサイクリング

毎月第2日曜日に県サイクリング協会鳥栖支部が行なっています。もりの自転車店に申し込んでください。6月は13日。朝7時30分から。

海外移住相談

県と海外移住事業団は、海外移住についての相談窓口を開設しますのでご利用ください。当日は海外移住の日です。

とき 6月18午後5時~同8時

ところ 元町勤労青少年ホーム

相談 海外移住全般、農業実習生、研修生の海外派遣制度について、農村青壮年海外派遣実習生、カナダ農業訓練生について、移住者留学生家族相談、技術移住、企業移住

◎最近の現地写真展、スライド映写も行なっています。

ベルマークを集めています

田代小PTAー

田代小学校PTAは、同校校舎改築を機に「ベルマーク」運動を強く進めています。食品、日用品、電気製品などの包装についているベルマークは、集めて会社に送ると、教育備品が贈られる仕組みになっています。1枚が1円に当たりますが、みんなは協力すれば数十万円になります。田代地区で小学生のいない家のみなさんもぜひこの運動に協力いただき、近所の児童にベルマークを持たせてやってください。

◇嘱託員交替

田代上町一榮井九郎さん(磯野哲雄さん)

寄付

ありがとうございます

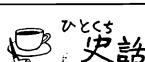
香典返し

老人福祉センターへ■曾根村町藤光則さん■牛原町天木義人さん■神辺町成沢虎夫さん

社会福祉協議会へ■古野町成富立木さん■藤木町平川芳夫さん■江島町寺崎勝次さん■元町河野武さん■萱町藤木久雄さん■曾根村町井上義雄さん■木鳥町長家アキさん■藤木町三瀬ミエさん■神辺町天木正男さん■松原町大石長一郎さん■立石町永済義勝さん■古野町杉町清次さん■永吉町大久保芳郎さん■藤木町手島弘見さん■江島町寺崎友行さん■田代町有家清子さん

一般寄付

社会福祉協議会へ■1350円...宮崎県日南市鈴井俊一さん



八坂農園 明治40年、八坂甚兵衛(甚八氏令息)は、農家の副業奨励のため、眞木町に八坂農園をつくりサラブレッドやアラブ種などの種馬をはじめ種牛、駒、アヒル、ウサギなどの家畜を飼い、果樹、野菜、花も栽培した。

当時ではすべて最高の品種ぞろいで、小学生が遠くから修学旅行に行くほどの人気だったが、経営内容などわしいことは不明。

(明治大正産業資料から)

南方戰没者の沖縄慰靈祭参拝者を募集

県連族会は沖縄の「はがくれの塔」参拝者を募集しています。はがくれの塔は第二次世界大戦中、南方で戦没した県出身者2万8000人柱を祭った慰靈塔ですが、9月20日、県は同地で慰靈祭を行なうことにしています。参拝希望者は、各地区連族会長か市福祉事務所に7月31日